

日本大学大学院商学研究科ディプロマ・ポリシー（商学専攻）

I 博士前期課程

博士前期課程商学専攻では、所定の単位を取得し、論文の審査及び最終試験に合格することにより、商学分野（関連分野を含む）の多様な知識の修得、自らが追究した分野に関する高度な専門性、当該分野の研究能力を有していると認められる者に修士（商学）の学位を授与する。

- DP① 商学分野の研究者もしくは専門的職業人として活動するために必要とされる高度な専門的、学際的両方のスキルを修得している。
- DP② 批判的な思考や論理的思考力を備え、ビジネス現象の背後にある複雑なメカニズムを解明できる能力を有する。
- DP③ 高度な専門知識をもとに、多様な分野の専門家ともコミュニケーションができ、マーケティング、流通、金融部門を牽引するリーダーとしての能力を有する。

II 博士後期課程

博士後期課程商学専攻では、後期課程に3年以上在籍し、論文の審査及び最終試験に合格することにより、商学関連分野の研究者として自立して研究活動を行い、または専門的な業務に従事することが可能となる高度な学識および研究能力を有していると認められる者に博士（商学）の学位を授与する。

- DP① 専門分野における今日的課題を独自の視点で見だし、その課題を先行研究の的確な整理を通じて位置づけ、最適な方法論を用いて研究を進めることのできる能力を有している。
- DP② 商学の知識・理論を体系的に修得し、それらを基盤として独自性の高い研究活動を展開することができる。
- DP③ 独創的な構想力だけでなく、的確な分析能力と論理的思考力を有し、研究で得た成果を高い倫理観を持って社会に公表できる能力を有している。

日本大学大学院商学研究科ディプロマ・ポリシー（経営学専攻）

I 博士前期課程

博士前期課程経営学専攻では、経営学分野における研究者ならびに高度な専門職業人を養成するために、経営学分野に関する多様な専門科目および関連科目などを学習する。これらの専門科目と関連科目の単位修得を通じて、以下の能力を有していると判断した場合には、修士（商学）の学位を授与することになる。

- DP① 経営学分野の研究者もしくは専門的職業人として活動するために必要とされる高度な知識やスキルを修得している。
- DP② 批判的な思考や論理的思考力を備え、ビジネス現象の背後にある複雑なメカニズムを解明できる能力を有する。
- DP③ 高度な専門知識をもとに、多様な分野の専門家ともコミュニケーションができ、組織を牽引する強いリーダーシップ能力を有する。

II 博士後期課程

博士後期課程経営学専攻では、後期課程に3年以上在籍し、論文の審査及び最終試験に合格することにより、経営学関連分野の研究者として自立して研究活動を行い、または専門的な業務に従事することが可能となる高度な学識および研究能力を有していると認められる者に博士（商学）の学位を授与する。

- DP① 専門分野における今日的課題を独自の視点で見いだし、その課題を先行研究の的確な整理を通じて位置づけ、最適な方法論を用いて研究を進めることのできる能力を有している。
- DP② 経営学の知識・理論を体系的に修得し、それらを基盤として独自性の高い研究活動を展開することができる。
- DP③ 独創的な構想力だけでなく、的確な分析能力と論理的思考力を有し、研究で得た成果を高い倫理観を持って社会に公表できる能力を有している。

日本大学大学院商学研究科ディプロマ・ポリシー（会計学専攻）

I 博士前期課程

博士前期課程会計学専攻では、財務会計、管理会計、監査などの会計学分野における研究者ならびに高度な専門的知識を身に付けた会計専門職を養成するために、会計学分野に関する多様な専門科目および関連科目などを学習する。これらの専門科目と関連科目の単位修得を通じて、以下の能力を有していると判断した場合には、修士（商学）の学位を授与することになる。

- DP① 会計学分野の研究者もしくは高度な専門的知識を身に付けた会計専門職として活動するために必要とされる高度な知識やスキルを修得している。
- DP② 批判的な思考や論理的思考力を備え、様々な会計行動や会計事象をその背後の諸要因と関わらせて理解する能力を有する。
- DP③ 高度な専門知識をもとに、多様な分野の専門家ともコミュニケーションができ、組織を牽引する強いリーダーシップ能力を有する。

II 博士後期課程

博士後期課程会計学専攻では、後期課程に3年以上在籍し、論文の審査及び最終試験に合格することにより、会計学関連分野の研究者として自立して研究活動を行い、または専門的な業務に従事することが可能となる高度な学識および研究能力を有していると認められる者に博士（商学）の学位を授与する。

- DP① 会計学分野における今日的課題を独自の視点で見だし、その課題を先行研究の的確な整理を通じて位置づけ、最適な方法論を用いて研究を進めることのできる能力を有している。
- DP② 会計学分野の高度な知識・理論を体系的に修得し、それらを基盤として独自性の高い研究活動を展開することができる。
- DP③ 独創的な構想力だけでなく、的確な分析能力と論理的思考力を有し、研究で得た成果を高い倫理観を持って社会に公表できる能力を有している。